

令和6年度 一般財団法人鳥取県観光事業団事業計画

1 基本方針

昨年度は、令和6年3月よりオープンする青谷かみじち史跡公園の指定管理者に当事業団と株式会社チュウブの共同企業体が選定された。また、現在運営する8施設の新たな指定管理期間の応募に取り組み、全ての施設で引き続き指定管理者に選定された。

次期指定管理においては、東郷湖羽合臨海公園の管理区域変更、パークビジョンに基づく新たな事業の追加をはじめ、その他の施設についても仕様書の変更があり、各施設がそれぞれの変更に対応し事業計画の刷新、改善に取り組んだ。本年度は新たな指定管理期間のスタートダッシュの年として、計画した業務を着実に検討実施し、集客につなげる必要がある。また、応募に取り組むなかで得た指定管理者制度に係る知見、鳥取県との連携関係を維持し、次期以降を見据え指定管理業務の改善につなげることも重要である。

観光業はコロナ禍による落ち込みの影響から完全に回復したとは言いがたい。観光業のあり方、職員の働き方など、模索し培ってきた新しい時代にあった取り組みを更に進化させ、観光事業団全体で推進していくとともに、関係者の支援をいただきながら、より一層のお客様満足度の向上を目指し、困難な状況を乗り越える。

働き方改革や健康経営にも継続して取り組むほか、研修等の充実を図ることで人材育成を進め、施設を超えた職員の連携を促進し、観光事業団の組織力、ブランド力を向上させ、着実に課題に取り組んでいく。

2 集客目標（単位：人）

施設名	令和6年度（A）	令和5年度（B）	対比（A） / （B）
こどもの国	166,000	160,000	104%
かにっこ館	230,000	225,000	102%
青谷かみじち	15,000	—	—
響の森	47,500	47,000	101%
臨海公園	229,000	324,000	71%
燕趙園	105,000	65,000	162%
なしっこ館	130,000	115,000	113%
タワー	110,000	100,000	110%
花回廊	315,000	350,000	90%
合計	1,347,500	1,386,000	97%

令和6年度 事務局本部事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 次期指定管理者制度応募への取り組み

各施設の魅力向上、業務改善の支援（バックアップ）と組織力と効率を高めるための一元的統括（マネジメント）を行い、次期指定管理の確実な受託を目指す

- ・東郷湖羽合臨海公園の管理区域変更のほか、仕様書に新たな事項の追加、評価小目の変更もあり、応募要件も複雑化するなか、施設における準備の進捗管理と支援、情報共有を行った。また指定管理支援に実績のあるコンサル会社による事業計画及びプレゼンの監修を依頼し、得た知見を全施設で共有し計画を改善した。この結果全施設が引き続きの指定管理指定を受けることができた。

(2) 働きやすい職場環境づくりの推進

- ・業務規程の見直しや、勤怠管理システム導入等による業務効率化などで更に働きやすい環境整備に取り組んだ。システム運用は、更に規程との整合性を検討し運用方法の改善を図る必要がある。

(3) 人材育成制度の充実

- ・人事評価制度、研修計画、育成計画の検討などに取り組んだ。今後も評価者の教育や個々の職員に応じた育成、具体的な成果の検証方法など長期的に取り組む課題はなお多い。

(4) ウイズコロナ、ポストコロナの集客促進対策

- ・増加が予想されるインバウンドについては、台湾誘客のため観光レップと提携した新規営業先の開拓に取り組み、インバウンド増加につなげた。

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 指定管理者制度への対応【拡充】

- ・指定管理者制度を取り巻く環境の変化に適切に対応し、より良い施設の管理運営を実現するとともに、指定管理者の事業継続性を高めていく。

(2) 働きやすい職場環境づくりの推進【継続】

- ・業務規程の見直しや、勤怠管理システム導入等による業務効率化などで更に働きやすい環境整備に取り組む。
- ・社会情勢に適合した処遇改善、多様な職員がいきいきと働ける職場を目指し働き方改革の推進に取り組む。

(3) 人材育成制度の充実【継続】

- ・人事評価制度、研修計画、育成計画の検討など人材育成制度の運用方法の改善に引き続き取り組み、組織の活性化を図る。
- ・人材確保のため、企業説明会へ参加、インターンシップの活用など職員採用方法の改善に取り組む。

3 令和6年度その他特記事項等

- ・鳥取県の所管課と緊密に連携した迅速な課題解決
- ・各施設の収支状況、事業実施状況を把握し、事業予算の執行と運営の改善を進める。

令和6年度 鳥取砂丘こどもの国事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) ぼうけんアスレチックコースの新設・樹林地整備

5年計画で遊具を5基整備した最終年度

こどもの国メイン遊具のドリームキャッスル奥の樹林地に「林の中を冒険する」という新たなコンセプトの遊具エリアが完成。今後は園内看板で誘客を図る。

(2) 星空イベント

宇宙ベンチャー企業「アミュラポ」と共に宇宙体験の出来る機器を用いVR体験を実施。またモバイルプラネタリウムイベントも行い科学技術体験を行った。小学校中～高学年でも楽しめるイベントを実施。当園の課題となっている小学校高学年も楽しめるイベントの実施が継続して必要。

(3) こどもの国50周年記念フェスタ

オープン50周年のPR・周知のための記念イベントを、四半期ごとに実施。各種団体との連携イベント、動物関連、食、子育てイベントの開催を行うと共に友の会半額キャンペーンも実施。会員数はR1年の5倍の2,000名となった。

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 宇宙体験・ロボットプログラミングによる科学技術教室【拡充】

宇宙関連企業と連携し宇宙に関するVR体験を実施。ロボットプログラミングでは鳥取湖陵高校の教師、生徒が講師となり基礎的なプログラミングを学習。科学技術体験イベントを実施し高学年～大人も楽しめるイベントを実施。

(2) 森林乗馬トレッキングコースの設置およびアニマルセラピーの実施【新規】

園内に森林乗馬トレッキングコースを設置し幼稚園・小学校・児童クラブが乗馬体験できるプログラムを設定。動物との触れ合いによる「アニマルセラピー」を行い子どもたちのストレスや不安などを軽減する取り組みを行う。

(3) 自然観察ゾーンの設置（野鳥・昆虫観察、ビオトープ）【新規】

来園者アンケートでも意見のあった野鳥観察・昆虫観察スポットを整備。

広葉樹の植林を行うなどカブトムシなどが繁殖できる環境を整え夏期には観察イベントも実施。水辺の無かった園内に新たにビオトープを整備。水辺の生き物が生息しやすいよう水生植物を植え環境を整え観察イベントを実施。

3 令和6年度の収入確保策

(1) 友の会割引チケットの配布

R5年度は50周年キャンペーンで半額としていたがR6以降は1,000円分の園内利用チケットを配布。園内で使用できるチケットにより入会費割引を行うと共に園内利用金額の増加を目指す。

(2) 自販機およびカプセルトイの追加設置

新設遊具ふわふわドーム前に自販機を1台追加。管理棟内には売店横にカプセルトイを追加設置し手数料収入につなげる。

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 園内老朽化箇所の修繕

老朽化した遊具が多いため年次計画で修繕を実施する。

令和6年度 とっとり賀露かっこ館事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 20周年記念事業

4~8月の入館者を前年比120%をみこんでいたが108%となった。もっと周辺を巻き込んで入館者増の対策が必要。(周辺施設等と共同事業を実施2-(2)、(3)へ)

(2) タッチングイベント

参加者数(売上):1月末現在、計画比117%。ただし自前で製作した水槽のためデッドスペースが多い。えさやり体験も含めて利用者増を目指すので水槽更新が望ましい。

(水槽更新を実施2-(1)へ)

(3) かっこマルシェ

実施にあたりスタッフの労力がかからず、多少の入館者のUPはあるが、大きな成果は無い。他団体等を巻き込んで若年層等の新しい顧客層の取込を含めた入館者増の対策が必要。(周辺施設等と共同事業を実施2-(2)、(3)へ)

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 水槽新設事業(クラウドファンディング)【新規】

○水槽を新設し利便性を向上させ、体験可能人数が増やし、多くの方に利用いただく。

○クラウドファンディングを行うことで、ファンの獲得も目指す。

(2) ナイトアクアリウム【新規】

○夜間開館を実施(夏冬2日間ずつ)、若年層の参加者も求める。

○夏休み期間と冬休み期間に賀露で撮影された写真を募集しInstagramフォトコンテストを行い、周遊を図るとともにファン獲得を図る。

○冬休み期間は他団体とともにイルミネーションを芝生の広場に設置する。

(3) 魚食普及事業【新規】

○四季の県魚料理教室:かろいち等と協働で開催、若年層の参加者も募集する。

○かっこ試食まつり:鳥取県漁協と協働で開催、観光客(大人)の参加者を募る。

○四季の県魚大喜利コンテスト:Xにてコンテストを実施。若年層以上の年齢のファン獲得を目指す。

3 令和6年度の収入確保策

(1) タッチングとえさやりイベント増収(2-(1)水槽新設により)

○水槽を新設することにより、稼働率のアップをはかり増収を目指す。

(2) むいぐるみくじ

○展示とリンクさせながら多種のむいぐるみを取り扱い、増収を図る。

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 鳥取県栽培漁業協会との協定締結【新規】

○飼育管理に関する定期的な指導助言、飼育技術のフォロー体制の構築し、展示の魅力アップにつなげる。

(2) 出前かっこ館

○実施時期を拡大し、環境啓発の紙芝居を実施する。

令和6年度 青谷かみじち史跡公園事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

- (1) 開園準備業務の遂行
- (2) 鳥取県、関係部署、むきばんだ史跡公園との連絡・調整
- (3) 青谷周辺団体との連絡・調整
- (4) 新規採用職員のスキルアップ

2 重点的に取り組む項目

- (1) とっとり弥生の王国発展に寄与
鳥取県、むきばんだ史跡公園との連携を強化し、イベント、学習体験企画、誘致事業等のあらゆる分野で取り組みを進める。
- (2) 史跡を活かした地域振興
共同事業体のネットワークを生かし、誘客を図る。青谷周辺、県内外の広域な文化・観光施設等と連携・協力し地域振興につながる取り組みを推進する。
- (3) 情報発信事業
WEB サイトや SNS 等のメディアの運用を通じ、それぞれを融合させ、信頼性、信用を確立し、評判(レピュテーション)を高める。WEB サイトのアクセス解析と流入分析による改良、グーグルビジネスプロフィールや各種 SNS との相互関係を最適化することで、広報における PDCA サイクルを確立する。
- (4) 活用推進事業
弥生文化を体験できるテーマやニーズに沿ったメニューを提供する。自然環境を生かし、園内で収穫した植物を使っての弥生体験メニューを実施し、「リアル」なモノづくりや、弥生時代のなりわいを感じられる企画の開発に取り組む。
- (5) 維持管理業務の一部内製化
日常清掃、定期清掃、簡易な設備保守等を内製化することにより、社会情勢の変化へ柔軟に対応できるマルチタスクな組織体制を構築する。さらに文化財への虫菌害のリスク低減や床 WAX 等から発生するアウトガスに対するリスク管理を自組織内で行える体制を構築することで、指定管理者としての強みを強化する。

3 令和6年度の収入確保策

- (1) 週末、連休、長期休暇等での園内外への出店・出展
- (2) 入場料・体験メニュー・物販のパッケージ商品の企画販売
- (3) 自動販売機によるグッズ販売と園内消費拡大

4 令和6年度その他特記事項等

特になし

令和6年度 氷ノ山自然ふれあい館事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 春(GW)、夏、秋の特別企画等の開催

- ・春(GW):「ネイチャーキッズフェスティバル」
これまで無料としていた縁日(自然物を用いたゲームコーナー)を有料にする
とともに見張りのアルバイトを必要最小限度に減らし、収支を改善した。
- ・夏:「天気・気象」に関する写真展、講演会、ワークショップ開催
展示パネルを鳥取地方気象台との連携し、協力を得て作成した。
- ・秋:ヤマネに関する展示、講演会、ワークショップ開催
ヤマネ関連商品を売店で販売したが、好評につき売店の収入増。

(2) 「棚田プロジェクト」の実施

- ・田植え、除草、稲刈りと一連の流れを体験してもらった。地元の方や関係機関(農
林水産省)と連携し、生物多様性や昔の農作業の解説等様々な側面から取り上げる
ことができた。

(3) わかさ氷ノ山・山フェスの開催

- ・響の森周辺に会場を変更して開催。約1,200人の参加とともに、入館者増につな
がった。

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 春(GW)、夏、秋の特別企画等の開催

- ・春(GW):「ネイチャーキッズフェスティバル」←1(1)
簡単なアウトドアクッキングや創作体験コーナーを充実させる。【拡充】
- ・夏:「棚田」に関する展示、講演会、ワークショップ等開催。【新規】←1(2)
- ・秋:自然を観察し、様子や感想も描いた「ネイチャージャーナル展(仮称)」。【新規】

(2) 「大人の趣味シリーズ」開催【新規】

- ・林業体験、刃物研ぎ等大人(中高年層)を対象とした講座を開催し客層の拡大を図る。

(3) 地域と連携した営業・広報活動【新規】

- ・キャンプ場や氷太くんと戦略的パートナーシップの提携や民宿等との連携によ
り、共同の企画造成や営業・広報活動に取り組む。

3 令和6年度の収入確保策

(1) 営業・広報活動による集客⇒収入確保

- ・地域と連携した営業・広報活動。←2(3)
- ・ホームページの改良、大人向けのチラシ作成等による集客。

(2) 売店の商品増による売り上げ確保

- ・オリジナル登山バッジの作成、販売やヤマネグッズ等の販売。

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 氷ノ山の環境保全への取り組み

- ・自然ふれあいロード環境整備、チョウのモニタリング調査等。

令和6年度 東郷湖羽合臨海公園（東郷湖北エリア）事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 秋フェス・スケートパーク教室の実施

愛好団体と共催し教室を4月と6月の2回実施し普及に貢献。秋フェスはプロのスケートボーダーを招聘するなど規模を拡大して実施し1200人が来場。日程が地域の大型催事と重複したため、混雑解消策など追加の経費が発生。集客にも若干影響したため、企画時の十分な確認が必要

(2) 公園づくり事業

藤津地区あやめ池公園駐車場の整備と、長和田地区の未活用地の整備を3月施工予定

(3) バタフライガーデン観察会・作業体験会の実施

作業体験は講師との折り合い付かず未実施。観察会は夏に実施したが集客が伸びなかった。開催時期、集客方法を再考してR6も実施予定。

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) トレーニングルーム改修【拡充】

スポーツセンターのトレーニングルームを充実させ、女性や高齢者のライトユーザーを呼び込み、リピーターとして定着させるため、内装の改善や、器具の充実を行なう。

(2) ウォーキングの拡充【拡充】

ウォーキングイベントの充実させ、公園及び周辺地域を多くの方に楽しんでもらうきっかけづくりを行なう。NPO 未来と連携して実施することで、県のウォーキングリゾートの一層の推進に寄与する。

(3) アクティビティの提供【新規】

東郷池でのカヌー・サップの体験等、体験アクティビティのメニュー提供、開発を行なう。

(4) 憩いの多目的スペース整備【新規】

体力測定広場の老朽化した器具を撤去したことによりできたスペースを活用して休憩できるスペースを整備。サイクルラックを設置するなどしてサイクリング愛好者の利用も視野に入れる。

3 令和6年度の収入確保策

(1) 使用料収入の増加策

トレーニングルームの値上げ（150円→200円）による単価増
ボール等レンタル備品の追加

(2) イベント収入の増

ウォーキングイベント、体験教室の開催数増
アクティビティ（カヌー体験）の実施

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 日本海エリア（宇野・長瀬地区）民間活力導入による活用のサウンディング調査

(2) 南谷テニスコートの改修

(3) 都市公園の占用・使用利用許可業務

(4) 県立スポーツ施設の学生料金の導入

令和6年度 中国庭園燕趙園事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 夏休み特別イベント「世界の昆虫展」

- ・13,000人(30日間)を集客

(2) 燕趙園通常営業の広報強化

- ・SNS広告(世界の昆虫展)、TV番組内広告、公式HPリニューアル
- ・効果測定の精度を高めるため、アンケート項目の見直し

(3) 臨海公園連携イベント

- ・4月の芝桜・ポタン周遊催事、ビンゴを取り込むことで150名参加(対前年150%)
- ・10月秋の感謝祭は1,478人集客(対前年72%)、12月イルミ連携101名(対前年348%)
- ・継続と内容のブラッシュアップが課題

(4) 中国関連団体との連携イベント

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 地域連携によるウォーキング大会等の推進

(2) 入園無料化の試行

- ・令和6年度、7年度、同一日程にて実施。
(5月16日～7月15日、12月1日～1月31日、期間中入園者は20,100人を想定)
- ・旅行会社への入園料無料試行、雑技有料の案内。

(3) 公園管理への多様な主体の参画促進

- ・区長会、近隣施設での案内
- ・チラシ、HPによる一般公募

(4) 四季を通じた見所及び木陰のある空間の創出

- ・沿線沿いの宿根草花壇、紅葉の並木通り

(5) 夏期イベント開催

- ・新日本海新聞社との共催で「ふれあい昆虫展」
- ・広域へのチラシ配布が有効

3 令和6年度の収入確保策

(1) 入園無料化試行の対策

- ・中国雑技ショーの有料化(300円)・屋台(夏期)や中国茶藝館(冬季)

(2) 漢服レンタル導入

- ・新しい魅力の付加、単価アップ(500円→1,000円)による収益増

(3) 道の駅等でのメニュー開発

- ・道の駅での特産野花梅を使用したドリンクや屋台でのオリジナルスイーツの提供

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 公園施設の行為許可、占用利用許可開始

- ・県の運用マニュアルを踏まえ、多数の問い合わせに回答

(2) グラウンドゴルフ用具の撤去

- ・事前に案内看板、地元グラウンドゴルフ協会への説明

(3) 長和田公園部分の拡大

令和6年度 鳥取二十世紀梨記念館事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 梨に関するアート展

「梨づくりの1年」に焦点を当てた梨記念館ならではの展示内容
イラスト展示+空間プロデュースに加え、顔出しパネルによる撮影スポット
イラスト展目当ての新規顧客の開拓、リピーターの確保
岡山市内への新聞折込の実施、未来中心及び遊具広場への看板設置など広報強化
期間中入館者数増 (R4: 29,074人 → R5: 33,463人)

(2) 梨販売力の強化

食べ比べの梨と販売梨が同品種になるよう調整
通販サイトを運送業者運営のサイトにリニューアル
梨箱に印字・封入物の外注など、発送に係る業務の効率化によりピーク時の生産
性が向上し梨販売額は過去最高

(3) 館内撮影スポットの整備

コロナ過で中止していたフルーツ帽子を再開
薄暗い館内を有効活用して室内イルミネーションを実施
鳥取短期大学の協力による撮影スポット

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 梨に関するアート展【拡充】

「梨」をテーマに全作品描きおろしの梨記念館でしか見ることの出来ない展示会
展示に絡めたイベント等プラスα要素を効果的な時期に盛り込む

(2) 室内イルミネーション【拡充】

薄暗い館内を有効活用した昼でも楽しめる室内イルミネーションの実施
子どもが楽しめる動きのあるイルミネーションの設置
鳥取短期大学と連携した作品の展示

(3) 梨の副読本の作成【新規】

R4年度イラスト展「梨と私の12カ月」を再活用し、梨づくりの1年間を子ども
でもわかりやすい説明等を追記して「梨づくりのわかる資料」として作成

3 令和6年度の収入確保策

(1) 梨販売による周遊の確保

計画どおり梨を確保し、食べ比べとの調整、ニーズに合わせた新規格による販売
大量入荷により販売に適さない梨を食べ比べに回すなどロス低減

(2) 売店オリジナル商品

アート展に合わせたオリジナル商品、ナッシー商品の追加

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 二十世紀導入120周年

「二十世紀」の親木3樹のうち、1樹が平成30年に衰弱枯死しており、残って
いた幹の部分を年輪の見える標本として保存・展示を行う

令和6年度 夢みなとタワー事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 春の大型催事「帰ってきたダンボール遊園地」の単独開催

- ・日本海新聞本社の方針でこれまで通りの共催イベントが開催できなくなったが、タワー単独で同規模のイベントを開始し、共催時を上回る来場者や収益を上げることができた。

(2) 夏の大型催事「光の切り絵展」の共催

- ・日本海新聞と共催の夏の恒例イベントだが、これまでと違い、大人や中高年の鑑賞にも耐えられる美術系のイベントを開催した。従来の家族層に加えて新規の客層も取り込むことができ、来場者が大幅に増えた。

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 新規免税店の開業【新規】

- ・株式会社 ALEXANDER&SUN 社による新規の運営が開始する。インバウンド向免税販売がメインとなるが、一般客向けの販売やレンタサイクル事業について連携や広報協力を行い、関係を強化する。。
- ・インバウンド買い物客が大幅に増えることが見込まれるため、タワー入館につながるよう物ツアーへのコース組込依頼や、動線作り等を行う。

(2) ソフトクリームショップの開業（境港観光協会による運営）【新規】

- ・観光協会による売店運営が始まるが、長く続けることができよう、タワー売店との商品の調整や広報、連携キャンペーンなどの協力を行う。

(3) 夢みなと賑わいプロジェクトの制度設計と運用【新規】

- ・R5年度から試験的に実施して既に2000人規模のイベントが複数回開催されるなど大きな成果が出ている。さらに幅広く活用してもらえるように制度設計をきちんと行い、イベント主催者へのDM送付等のセールスも行う。

3 令和6年度の収入確保策

※夢みなとタワーは、物価や人件費の高騰を受けた指定管理料の増額が決定したことや、新たに入居が決まった免税店テナント賃料の満額を受領できる見込みが立ったことから、年間収入予算の85%は固定収入で安定する。これまでの取り組みによる収益確保は継続して行うが、積極的な修繕や備品更新、大型イベントなどにより、支出増加の実績を作っていきながら、適正利益となるように収支差をコントロールしていく。

4 令和6年度その他特記事項等

(1) 料金等変更の周知とヒアリング

- ・貸館について、シンプルな料金体系となるように料金見直しを行うこととしている。これについて、しっかりと周知を行うことと、利用者の反応を確認する。

令和6年度 とっとり花回廊事業計画

1 令和5年度重点項目の成果等

(1) 年間テーマ「Memory ～花で彩る瞬間～」

- ・年間を通じて年齢を問わず楽しめる空間や花に囲まれたフォトスポット、来園者が直接体験できる要素も取り入れ、思い出となる展示を実施
- ・チューリップやヒマワリなど季節の花の展示の仕方に変化を持たせるとともに、オリジナルクレマチスを展示するなど新たな取り組みの実施
- ・県内生産者の協力で多肉植物のイベントを初開催し、ワークショップ、講演会、販売会を実施

(2) 園内魅力づくりの取り組み

- ・植栽展示において、「既存の強みの強化」、「家族連れ・若年層への魅力強化」、「見るプラスα」の観点で、園内の魅力づくりを3年計画で実施（R5は最終年度）
- ・自然散策ゾーンの整備、自然に親しむ広場とトピアリーゾーン造成を実施

(3) 体験メニューの充実

- ・新たに専門業者と共同で制作し、若年層から家族連れまで通年で楽しめる謎解きイベントを実施⇒利用者数の目標に達せずPRを継続して継続実施
- ・人気のある園内外での寄せ植え体験や花の抜き取りイベントを開催

(4) WEB関連の発信力強化

- ・YouTubeやInstagramで外部制作動画やショート動画を積極的に公開
- ・広大な園内を実感できるドローンの活用を拡大し職員への技能共有も実施
- ・SNS上のキャンペーンを企画して登録者数の増加とPR効果の向上を図った

(5) 社会状況に合わせた運営

- ・繁忙期と閑散期を意識したメリハリのある予算執行を実施
- ・光熱水費、除雪費、花苗、材料費などの物価高騰を考慮した経費節減
- ・物販・飲食の価格調整やスタートレインの料金改定を実施

2 令和6年度に取り組む重点項目

(1) 園の魅力アップ

① 植栽関係

- ・サクラやバラ、ユリ、クレマチス等のボリュームアップ及び品種数の充実
- ・タブの木の丘を「仮称：希望の丘」として再整備
- ・花の谷「古代ゾーン」整備

② 新品種の育成等

- ・鳥取県園芸試験場との協働、地元育種家との連携
- ・種苗関連メーカーの最新品種や国内外の有望品種の園内展示や技術研修を実施

③ 体験メニュー等

- ・生き物観察会、バードウォッチング等の定期観察会や株分け講習会など体験教室
- ・インスタ等映え用体験イベント

④ イベント関係

- ・地域の自治体や企業と連携した話題性のあるイベントを実施
- ・没入型映像体験が出来るイベントを計画（イルミネーション）

⑤ くつろぎの空間提供

- ・木陰にベンチ、テーブルを設置
- ・ガーデンパラソルやオーニングを使用したくつろげる空間の提供

(2) 花き園芸の振興

① 花壇苗供給体制の見直し

- ・花壇苗に係る新たな供給システムの構築に向けた検討・協議
⇒鳥取県西部花壇苗農家減少による欠品及び品質低下防止のため

② 生産農家の育成

- ・県、JAなど関係機関と連携して巡回指導
- ・植栽する花壇苗の購入金額を増額

③ 次世代へ向けた取組

- ・新品種や珍しい品種の発表、花壇苗新品種の試作

(3) 集客促進

① 基本的な取り組み、連携等

- ・年間テーマを「Enjoy～咲き誇る花たちと一緒に楽しもう！～」とし、花を見るだけでなく食べたり遊んだり体全身で楽しめる空間づくりを追求。

<ul style="list-style-type: none"> ・開園 25 周年記念事業として、花回廊を支えてくださった全ての方へ感謝を込めた記念式典を開催するとともに、記念となる様々なイベントやキャンペーンを実施 ・皆生温泉旅館組合とインバウンド誘客による連携 <p>② 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報の効果を測定・分析して広報内容・手法・時期などを改善 ・印刷物に HP へのリンク QR を埋込むことにより、容易に公式 HP にアクセス可能 <p>③ サービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインチケットを活用した魅力的な商品設定 ・夏休み小中学生の無料化の実施 <p>④ 友の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員証のデジタル化の導入 ・入会キャンペーンの実施（25 周年事業等） <p>(4) 販売・飲食事業の促進</p> <p>① 販売関係全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客の動向を観察・研究し、速やかな売れ筋商品を提供 ・園外での販売拡大 <p>② 土産・特産売店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の各種メーカーや事業者との共同開発により商品を充実 ・SNS 等を活用し、新商品や人気商品、売場の模様替え等まで情報をリリース <p>③ 園芸ショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元生産者、地元園芸店との連携 <p>④ レストラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異国食文化への対応 ・地元の商品を上手く活用したコラボスイーツの開発 <p>⑤ 屋台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車導入の検討 ・外部への PR を兼ねた出店 <p>(5) 交流の推進</p> <p>① 教育関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした花育講座「花はなクラブ」を新設 ・米子高専との連携推進（アンケートシステムを共同開発等） <p>② 各種団体との交流再開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キューケンホフ公園、三園交流（牧野、あわじ）、台湾肥料等 <p>(6) 人材育成</p> <p>① 研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部・内部研修、資格取得 ・他植物園や先進観光地の視察 <p>② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸部門の専門職化
<p>3 令和 6 年度の収入確保策</p> <p>(1) 入園者数と売上の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2（1）園の魅力アップを前提に2（3）集客促進対策及び2（4）販売・飲食事業の促進を実行 <p>(2) 入園料の改定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の雇用・育成や物価高騰などへの対応と健全な管理運営水準を維持するため、夏期小中学生無料化などの利用環境の改善と合わせて入園料の改定を実施 <p>(3) アウトリーチ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園できない方の要望に応じた体験メニューの出張対応や園外へのイベント出店や飲食販売を実施
<p>4 令和 6 年度その他特記事項等</p> <p>一社)鳥取県造園建設業協会とのコンソーシアムによる管理運営を行うことにより、園内樹木の適正な管理や工事等自主施工能力の向上、観光事業団職員のスキルアップに加え、園の魅力アップと地域活性化の推進を図る。</p>